

ディレクトフォース



新日鐵住金

新日鐵住金株式会社とは

ディレクトフォースの感想を早速書こうとも思ったが、まずその前に、新日鐵とはどのような会社なのかを説明しておきたいと思う。

新日鐵は素材メーカーであり、鉄鋼メーカーである。メーカーというとまず自動車メーカーやハウスメーカー、食品メーカー、飲料メーカーを思い浮かべると思うが新日鐵は以上の製品として製造、販売をしているメーカーに原料や素材を提供しているメーカーである。次に鉄鋼メーカーについて説明しようと思う。鉄鋼メーカーとは自然界に存在する鉄鉱石や石炭、石灰石から高機能の鉄鋼製品をつくるメーカーである。

鉄の需要は中国を中心に年々急上昇している。そんな中で国別の鉄鋼生産量の第二位に日本は付けている。また、新日鐵はメーカー別に見て第二位の生産量を誇る。さらに新日鐵はたゆまない研究、開発を行っていて、グローバル展開にも力を注いでいて、多くの拠点を構える。

少し脱線するが、新日鐵の基礎知識として書いておくと、いつも社員や労働者の方々は『ご安全に』と挨拶をする。ものづくりの会社ならではの挨拶だが、これは『おはよう』『お疲れ様です』など多くの言葉の代わりに使われる、新日鐵の合言葉のような挨拶である。

そんな立派な会社に、しかもその本社に入らせていただき、貴重なお話を聞かせていただいたことは将来必ず役に立つ体験だったと思う。では、そのお話について述べたいと思う。

社員の方々の御言葉

前述からもわかるように、新日鐵は非常に素晴らしい会社である。そんな会社の本社で働く社員の方々はエリートと呼ばれるようなとても優秀な人たちである。そんな方々のお話は非常に深く、たくさんのことを学ぶことが出来た。彼等の話から得たものは大きく分けて3つである。ここでは、その3つについてその内容と感想・意見を述べる。

①社会は正解のない問題だらけ

まず、社会に出ると学生の今とはまったくもって違った問題が山ほどあると言う。たしかに、今の私たちは『勉強』という形でどちらかというとインプットの勉強をしている。しかし、少し想像してみればわかるように、大人はアウトプットの社会だ。そんな中で今の問題の解決法ではさっぱり歯が立たない。

そこで必要になってくるのは『三人寄れば文殊の知恵』というように周りの人のでも借りることではないか。そう私は考えた。新日鐵の社員の方は正解のない間にお客さんの要望に最も応えられるような最適解を追求することが仕事の面白み、それで満足していただけた時の笑顔が喜びだとおっしゃっていた。

このお話から私は、自分のやっていることに対して『おもしろい！』と思えるような点を見つけられればと思う。また、正解を、自分の世界を自ら切り開いていけるような社会人になりたいと思った。

②まずはやってみろ！

迷ったらやってみろ！その社員の方はそういう気持ちをいただいているそうだ。迷っている時間をもったいないからそんな時間を勉強や趣味などもっと良い時間の使い方をすべきだと仰っていた。まずは自分がやろうと思うことをしっかり心に決める。その決めることはたとえ実現するには遠い、と思えるようなことでもいい。決断した後、それを実現するために必死で頑張ってみると、意外にその夢は手の届くところにあるものだ。だから『どうせ無理だろう』とは思わず、自分が『叶えたい！』と思うことを純粋に目標にすればいいのだ。だからどうせならでっかい夢を持とう！とその方は仰っていた。私もそのお話を聞いてから達成するのが難しそうな小さな目標を掲げてみた。すると不思議なことにいつもよりも集中力が増し、いつも以上の力を発揮できている気がした。だから小さな目標であってもちよっと厳しいかな、と思えるぐらいの目標にして、最終的な大きな夢を叶えたい。

③自分と仲間、そして自信

まずは『自分』を中心にして考える。自分で何事にも取り組んでみる。そして壁に当たる。さらに考えてその壁を乗り越えようとする。

しかしこれでは決して乗り越えられない壁や出会えない壁がある。ここで必要となってくるのが『仲間』なのだ。仲間と自分は全く違った人間で、思考も十人十色。だから①でも述べたように仲間と協力して考えたり、活動したりして壁を乗り越えていくことが必要なのだ。さらに仲間がいれば考え方は何倍にも何十倍にもなるわけだから、ぶつかる壁の数もその分増えていく。そして、それらを乗り越えようとする過程で自分は成長し、仲間との絆も深まるというわけだ。

そして最後はやはり『自分』。自分が今やっているたくさんの点が将来繋がって大きな世界を見ることができるよう、勇気、運命、人生を信じて、人に頼ってばかりでなく自分自身で主体性を持って活動していくべきだ。このプロセスはどこか二高の『文武一道』に似ているところがあると思う。ひとつひとつの物事に一生懸命取り組んでそれを極める。そしてその先には全て同じ世界が広がっているのだ。だから人生において自分も仲間も大切にして過去に頑張った自分の姿が励みになるような生き方をしていきたい。